

## やお・かしわら 慈願寺(じがんじ) 登録文化財

慈願寺は福井山と号し、真宗東本願寺末にして阿弥陀仏を本尊とする。弘安3年(1280)見真大師の直弟信頼房法心の開創である。当時は久宝寺村にあったが慶長3年(1598)当所に移転した。五世法円に至り蓮如法主より聖徳太子作の阿弥陀仏の像が贈られる。境内は1,347坪を有し、本堂・庫裏・玄関・座敷・廊下・客室・香部屋・納家・御供所・経堂・



市街地の中で、貴重な「緑」「空間」「大きな藪」を有す慈願寺  
所在地：八尾市本町 3-5-5  
最寄駅：近鉄大阪線八尾駅下車 南西へ徒歩約10分

鐘楼・門が現存する。庭中に八房の梅があり、見真大師の愛樹を移植したものであると伝え、蓮如上人が下向のとき「来る春に同じ梢をなかむれば色も変わらぬ藪垣の梅」と一首詠われたという。以上、大阪府全志(著者:井上正雄、要約版編集:平谷宗隆)から八尾市の市街地の中で、貴重な「緑」「空間」「大きな藪」を有し、開創当時の面影を現在に残している建造物であり、いろんな観点から、「街」「人」に影響を与えている。(新田俊明)